

第11回 高月・木之本中学区の在宅医療カフェ(意見交換会)のまとめ 参加者30人(地域住民15人・医療福祉行政関係者15人)

1G		2G	3G	4G
目標	適切な医療・介護・生活を支える仕組みが整えられる	老々世帯・独居世帯の介護と医療(支援)	必要な時に、必要な医療が受けられる	受診行動がとれる環境を作る
タイトル(方法)	医療(かかりつけ医・健康管理・訪問医療)	医療(生活・身体状況・薬・受診手段の把握)	かかりつけ医(往診医の確認・コンビニ受診)	訪問系医療サービスの充実
	介護(介護者の時間・相談場所・男性のデイ)	民生委員(情報共有・サービス支援の促進)	自分で健康づくり(体調自己管理)	総合病院の体制強化(全科の専門医)
	交通手段(通院買い物・バスの充実・安価)	アウトリーチ(ニーズの把握・金銭問題)	医療機能・福祉の充実(湖北病院の充足)	居場所づくり(サロン・・・健康を考える)
	近所での支え合い(近所づきあい・サロン情報)	家族力の発揮(遠方の家族と情報交換)	地域の繋がり(近所づきあい・頼れる人)	空き家の活用(支所)
	年齢層への理解	地域(見守り支援・マップ作成・サロンに参加)	医療機関への交通機関の確保	地域との交流(隣組・ボランティア・自治会)
	医療介護人材不足	緊急システム(相談・連絡網)	知識(医療情報・出前講座)	送迎バス運行の充実(時刻表をもっと分かり易く・バス本数の増加・無料化)
			医療資源情報(地域包括支援センターの役割)	
		色々な事を覚悟・腹をくくる		
スロー	まず自分でできる事から始めよう!	近所・家族・地域コミュニケーション	必要な情報に耳ダンボ	人任せにせず地域で繋がろう!
	対策	内容		
全体をまとめると	1、かかりつけ医・歯科医・薬局を持つ	湖北病院の訪問診療・へき地医療(中の河内など)・総合病院の体制強化・家族へのアプローチ・終末期は腹をくくる覚悟も大切・地域包括支援センターの情報発信		
	2、健康に関する自己管理	自ら医療や介護情報を受信する・空き家の活用・居場所作り・サロン⇒出前講座で医療や介護情報を習得・民生委員の活動と情報共有		
	3、受診(買い物)手段の整備	公共の送迎バス無料化・時刻表を分かり易く・バスの本数増加・住民間の協力(送迎支援)		
	4、地域の繋がり・支え合いを強化	隣組・ボランティア・自治会・住民同士の助け合い・見守り支援・緊急システム(虚弱者や独居高齢者のマップ)・相談先の確保・医療介護人材の確保⇒互助・お互いさんで近隣の協力で補完		
<p>～あとがき～</p> <p>先日は大変お忙しい中、在宅医療カフェにご参加頂きましてありがとうございました。超高齢社会(多死社会)到来や地域交流の希薄に関する地域課題の中で、「在宅医療」に視点を当て、それぞれの立場で「ご自分や地域で何が出来るか」について話し合っていました。グループ目標によっては、方策が多少異なりますが、この地域において、ハード面の整備はもちろんの事、住民同士の支え合いや健康・医療情報を自ら取得する事・近所づきあい・独居の方に関心を向ける事・公共サービスの不足分を地域住民の協力で補完する(送迎サービス)・空き家の有効利用・居場所づくりなどなど、それぞれの立場から、貴重なご意見を伺いました。どうぞ、机上の空論でなく、一歩でも前進し、形にして頂ければと思います。また、この意見交換の内容をご家族や地域の方にお伝え頂きますと、当センターと致ししても大変うれしく思います。</p> <p>前日には鶏足寺の紅葉が放映され、紅葉日和でもある事から交通渋滞が発生、また会場が分かり難く大変ご迷惑をお掛けしました事を心よりお詫び申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。</p>				
長浜米原地域医療支援センター 今井・池野				